

債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ



インドネシア



インド

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/14 （6/7との比較）	6/14 （6/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気方向性 （※6）	方向性 （※7）		
カナダ 	AAA	1.44% （▲0.03）	80.93円 （▲0.73%）	+1.3% 2019年1Q	1.75%	発表された住宅着工件数は市場予想を下回る内容。ホルムズ海峡でのタンカー攻撃が地政学リスクを意識させる要因となる中、カナダドルは対円で下落。米国の早期利下げ観測が高まる中、国債利回りは低下。	製造業売上高やCPI（消費者物価指数）、小売売上高などが発表予定。米国の金融政策や各国の通商問題を巡る動向をにらみつつ、債券・為替市場はともにレンジ内での推移を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ブラジル 	BB-	6.87% （▲0.22）	27.86円 （▲0.07%）	+0.5% 2019年1Q	6.50%	発表された小売売上高は市場予想を下回る内容で、経済の低迷が持続しているとの懸念が台頭。年金改革の議会原案が公表され、その進展に対する期待が強まるものの、リアルは対円で下落。国債利回りは低下。	登録雇用創出などが発表予定。年金改革への前向きな動きに期待が高まり、中銀は政策金利を据え置くとみられる中、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Ba2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		
メキシコ 	A-	7.59% （▲0.23）	5.67円 （+2.77%）	+1.3% 2019年1Q	8.25%	発表された鉱工業生産（季節調整済）は前月比で改善し、景気悪化への懸念がやや後退。米国と合意した不法移民対策の動きや格下げへの対策にも注目が集まる中、メキシコペソは対円で上昇。国債利回りは低下。	特段注目される経済指標の予定は無し。国境のインフラ改善に向けての動きや米国の金融政策に注目が集まるが、引き続き高利回り通貨であることから、メキシコペソは底堅い推移を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/14 （6/7との比較）	6/14 （6/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	1.37% （▲0.10）	74.61円 （▲1.50%）	+1.8% 2018年4Q	1.25%	発表された企業景況感や消費者信頼感指数が前月比で低下。雇用統計で失業率が市場予想に反し横ばいとなったことから、利下げ観測も台頭する中、国債利回りは低下。豪ドルは対円で下落。	景気先行指数や製造業PMI（購買担当者景気指数）などが発表予定。これらの経済指標の内容に加え、米国の金融政策動向も注視しながら、債券・為替市場ともにレンジ内で推移する展開を想定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	1.64% （▲0.05）	70.47円 （▲2.26%）	+2.3% 2018年4Q	1.50%	発表された製造業PMIは前月比で低下し、製造業活動量の伸び率は前月比で鈍化する内容。世界的に金利低下の動きとなる中、国債利回りは低下。ニュージーランドドルは対円で下落。	GDP（国内総生産）や消費者信頼感指数、経常収支などが発表予定。これらの経済指標の内容や、米国の金融政策動向もにらみながら、債券・為替市場は一進一退の展開が続くと予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		
ノルウェー 	AAA	1.46% （▲0.03）	12.45円 （▲0.70%）	+2.5% 2019年1Q	1.00%	発表されたCPIは市場予想を下回る伸びとなる一方で、PPI（生産者物価指数）は前月比で低下。世界的に金利低下の動きとなる中、国債利回りは低下。ノルウェークローネは対円で下落。	貿易収支などが発表予定。また、他の中銀と比較してタカ派なスタンスを維持している同国の中銀が、実際に利上げを決定するかどうかに注目される状況だが、中東情勢や原油価格を巡る動きにも注意が必要。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		6/14 （6/7との比較）	6/14 （6/7との比較）	前年比 （※3）	先週末		
		今後の見通し （※4）	今後の見通し （※5）	景気の方向性 （※6）	方向性 （※7）		
南アフリカ 	BB+	7.40% （▲0.08）	7.31円 （+1.05%）	+0.0% 2019年1Q	6.75%	発表された製造業生産や小売売上高は市場予想を上回る内容。大手格付機関が、GDPのマイナス成長についてネガティブとの見方を示唆する中、国債利回りは低下。ランドは対円で上昇。	CPIなどが発表予定。引き続き、ラマポーザ大統領による政策対応や、米国の金融政策を巡る動きに注目が集まる中、債券・為替市場は一進一退の展開を予想。
	Baa3	 金利横ばい		 景気停滞	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	7.20% （▲0.34）	0.76円 （▲0.37%）	+5.1% 2018年4Q	6.00%	発表されたCPIは、ラマダン（イスラム教の断食月）に伴う支出などの影響もあり市場予想を上回る内容。中銀が5%強の経済成長を基準にやや緩やかな姿勢を示す中、インドネシアルピアは対円で下落。国債利回りは低下。	中銀は政策金利を据え置くと予想され、ジョコ大統領の発言など政策面での新たな展開に注目。米国の金融政策もにらみながら、債券・為替市場はともに概ねレンジ内での推移を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気拡大	 利下げ局面		
インド 	BBB-	6.72% （▲0.07）	1.56円 （▲0.13%）	+5.8% 2019年1Q	5.75%	発表された鉱工業生産は市場予想を上回り、貿易収支はほぼ市場予想の範囲となる内容。政府は、米国からの輸入品に16日から報復関税を課すと発表。インドルピーは対円で下落。国債利回りは低下。	特段注目される経済指標の予定は無し。引き続き、モディ首相の政策に関する動向や米国との通商問題の先行きに注目が集まる中、債券・為替市場はともにレンジ内で推移する展開を予想。
	Baa2	 金利横ばい		 景気回復	 据え置き局面		

出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（南アフリカ：3年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

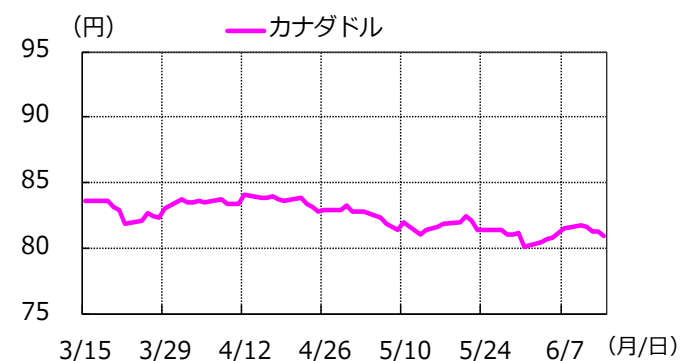
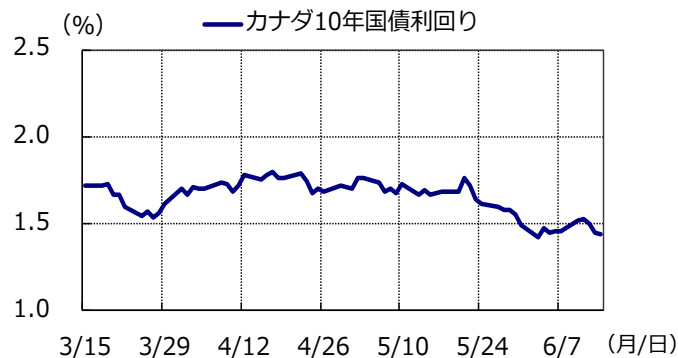
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

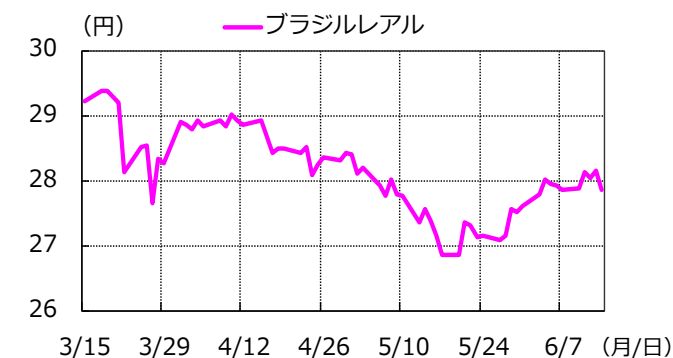
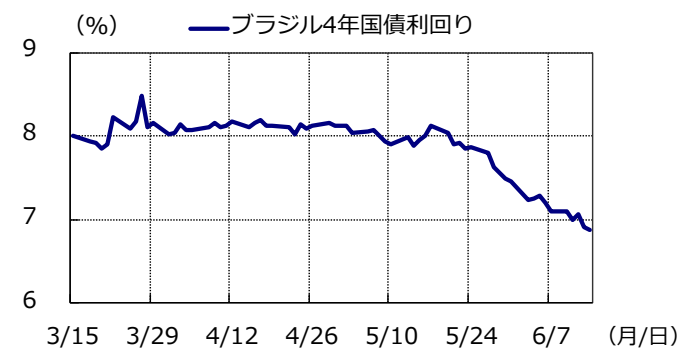
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/15～2019/6/14

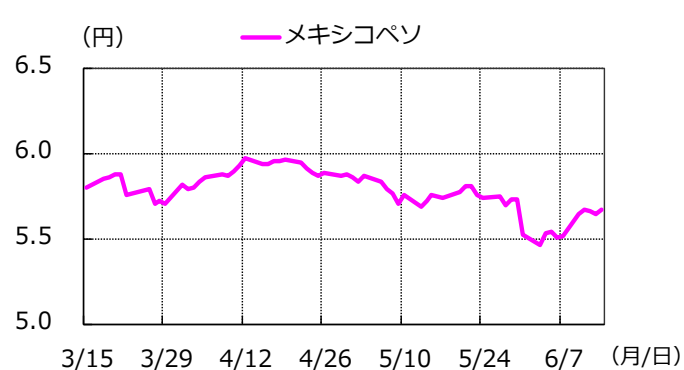
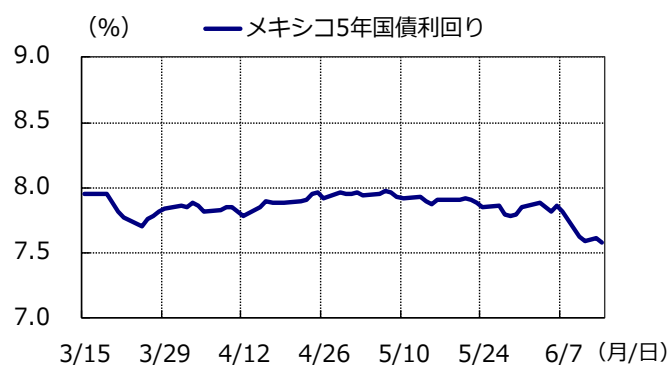
カナダ



ブラジル



メキシコ

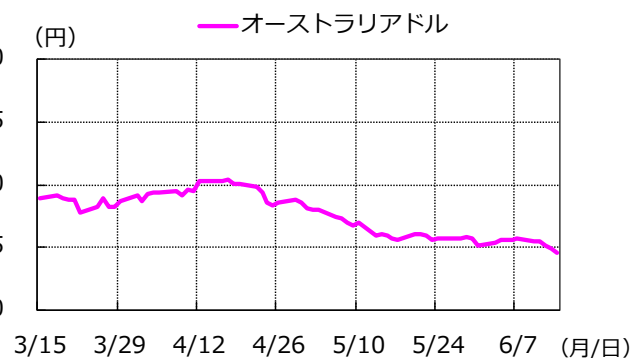
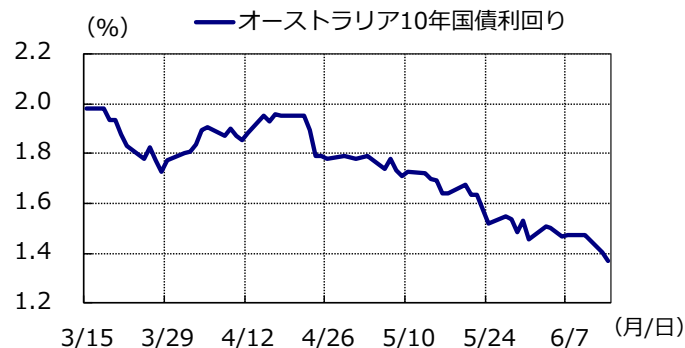


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

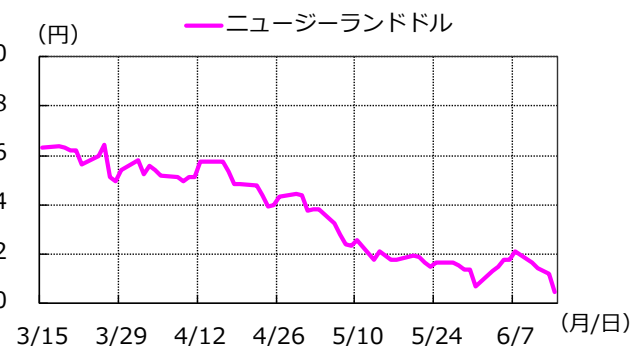
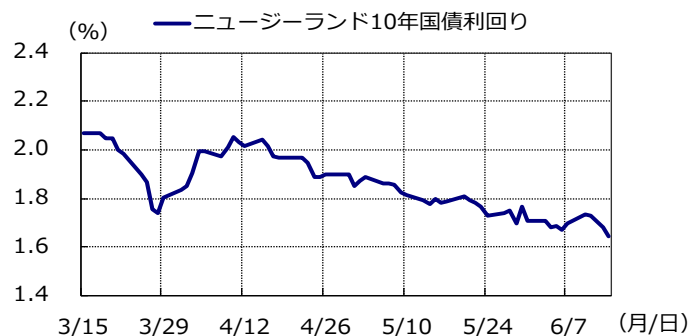
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/15～2019/6/14

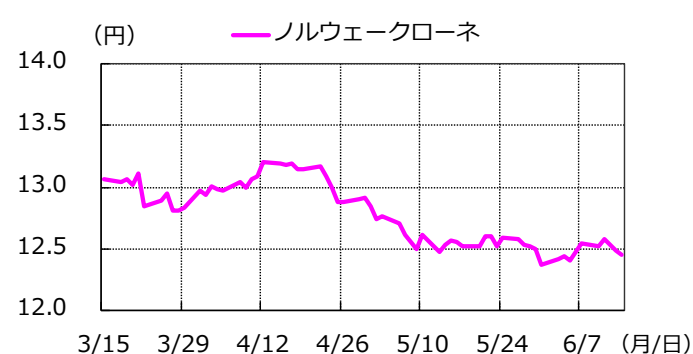
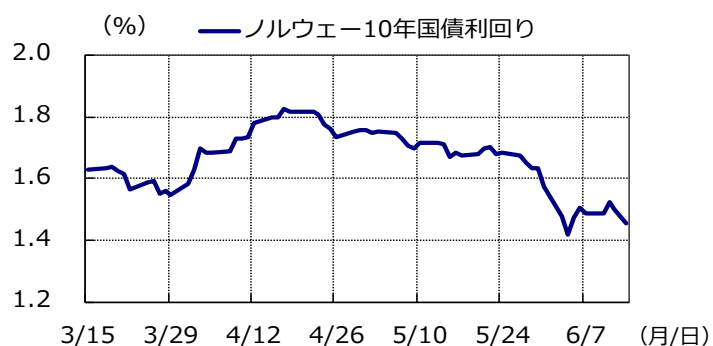
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

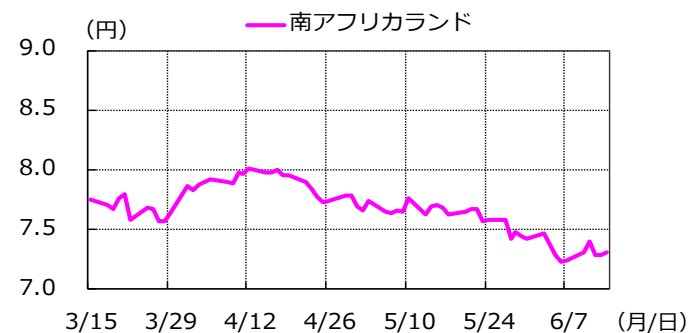
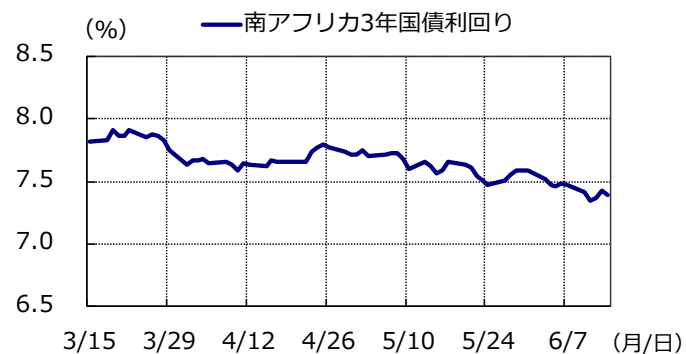


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

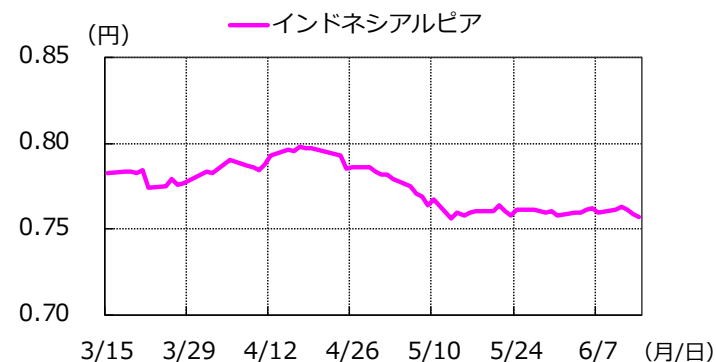
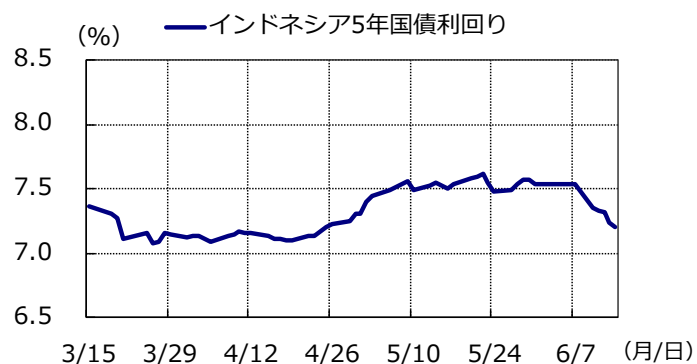
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

期間：2019/3/15～2019/6/14

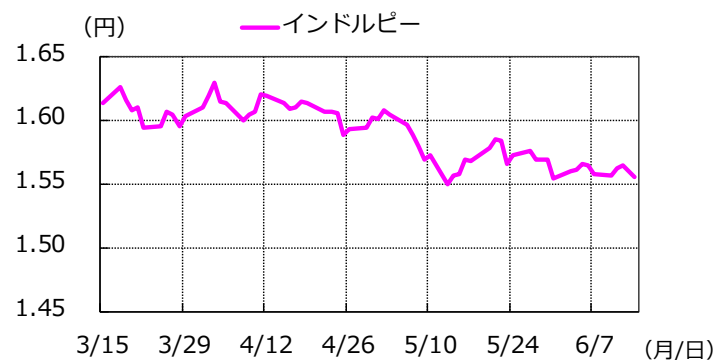
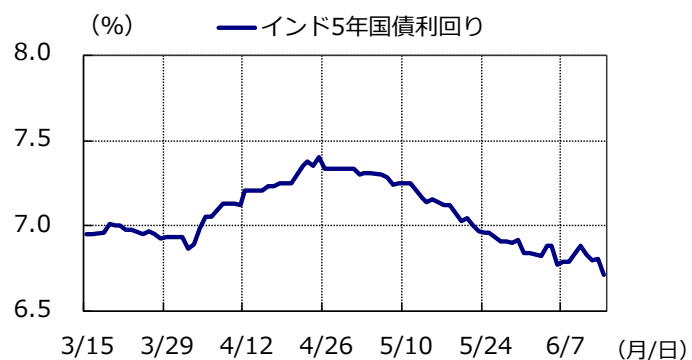
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。
※巻末の「投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項」を必ずお読み下さい。

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

〔ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。〕

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合があるため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

●当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

●当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

●当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

●投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。